

情報名: アクセルクリヤーボカシ塗装仕様書

◆ 対象製品

アクセルクリヤーシリーズ各種

◆ 下地処理

クリヤー塗装部は P1000 以上にて足付け研磨処理

ボカシ塗装部は中目～細目コンパウンドにて足付け処理。

◆ クリヤー塗装

ハードナー調合済み塗料…(A)

アクセルクリヤー: アクセルマルチハードナー: シンナー (調合比は各製品に順ずる)

上記塗料(A)にてクリヤー2～3回塗装。(1回目 捨て吹き 2回目 中仕上げ 3回目 本仕上げ)  
本仕上げのボカシ際は P1000 以上ペーパー足付けをした範囲内で塗装して下さい。

◆ クリヤー段ぼかし塗装 1回目

塗料調合比

(A)のクリヤーの残り : シンナー = 100 : 100 ⇒ (B)

クリヤーの段ぼかし工程ですが、クリヤー(A)の残りの量と同量のシンナーをスプレーガンに目分量にて追加。

クリヤーのボカシ際を中心に塗料(B)でぼかし際のミストを馴染ませる。

このときクリヤー(B)のぼかし際はコンパウンド足付け処理した範囲にもっていく。

◆ クリヤー段ぼかし塗装 2回目

塗料調合比

(B)のクリヤーの残り : シンナー = 100 : 100 ⇒ (C)

2回目の段ボカシ工程。(B)クリヤーの残りの量と同量のシンナーをスプレーガンに目分量にて追加。

(B)クリヤーのボカシ際中心に塗料(C)でボカシ際のミストを馴染ませる。

このときクリヤー(C)のボカシ際はコンパウンド足付け処理した範囲からはみ出さないこと。

◆ クリヤー乾燥

セッティング後、クリヤー乾燥 (60℃×30分以上)

特にクリヤーのボカシ際は入念に乾燥させること。

◆ 磨き作業

塗料のボカシ際を細目コンパウンド以上にて軽く磨く。(力を入れすぎるとエッジがでる)